ものがたりをたのしむ本

11ぴきのねこ ふくろのなか

馬場のぼる
こぐま社

ねこたちの行く先々に「花を取るな」「橋を渡るな」など、立て札がありました。でも、ねこたちは花を取り、危険な橋を渡っていきます。
11ぴきのねこシリーズ

999ひきの きょうだい

木村　研／文
村上康成／絵
ひさかたチャイルド

９９９匹のかえるの兄弟たちとそれをねらうヘびの大騒動。
999ひきのきょうだいシリーズ

あな

谷川俊太郎／作
和田　誠／絵
福音館書店

日曜日の朝、何もすることがなかったので、ひろしは穴を掘りはじめた。誰のものでもない、自分だけの穴……。

ありこの おつかい

いしいももこ／作
中川宗弥／絵
福音館書店

アリのありこはおつかいの途中、道草をくったばっかりにカマキリにのみこまれ、そのカマキリはムクドリに、ムクドリはヤマネコに・・・。

いつもちこくの おとこのこ

ジョン・バーニンガム／作・絵
たにかわしゅんたろう／訳
あかね書房

どうしても遅刻してしまう少年と彼を罰する先生の立場が、ある日逆転したら…。

おおきくなるって いうことは

中川ひろたか／作
村上康成／絵
童心社

おおきくなるっていうことは、服が小さくなったり、自分より小さな人にやさしくなれたり―そんな喜びがいっぱい。

おばけの てんぷら

せなけいこ
ポプラ社

うさこがごきげんでてんぷらをあげていると、においにさそわれて、山のおばけがそっとやってきました。

おまえうまそうだな

宮西達也
ポプラ社

おなかをすかせたティラノサウルスが、アンキロサウルスのあかちゃんを見つけてとびかかろうとすると…。
ティラノサウルスシリーズ

かいじゅうたちの いるところ

モーリス・センダック／作
じんぐうてるお／訳
冨山房

マックスはいたずらをしておこったおかあさんに寝室にとじこめられた。すると、いつのまにか森になって、着いたところは、なんとかいじゅうたちの島だった。

かえると カレーライス

長　新太
福音館書店

山があるときカレーを吐き出したら、山全体がなんと巨大なカレーライスに。

かたあしだちょうの エルフ

おのきがく
ポプラ社

ライオンとたたかって片足をなくしたエルフは、子どもたちを守って、黒ひょうとたたかいます。

かばくん

岸田衿子／作
中谷千代子／絵
福音館書店

かばくんと一緒にのんびりゆったりした気持ちになります。

からすの パンやさん

かこさとし
偕成社

泉が森のからすのパン屋さんは、すてきな形のパンをどっさりと焼くのですが・・・。

ぐりとぐらの おきゃくさま

中川李枝子／作
やまわきゆりこ／絵
福音館書店

ぐりとぐらが雪の上に見つけた大きな足あとは、自分たちの家までつづいていました。玄関にはまっかなコートが…。
ぐりとぐらシリーズ

ぐるんぱの ようちえん

西内みなみ／作
堀内誠一／絵
福音館書店

ぞうのぐるんぱは、行く先々でとてつもなく大きなものを作って失敗ばかり。でも、最後につくったものは大成功。

コッコさんと あめふり

片山　健
福音館書店

毎日毎日、雨が降り、コッコさんはてるてるぼうずを作りますが、雨はなかなかやみません。そこでコッコさんは。
コッコさんシリーズ

こやぎが やってきた

田島征三
偕成社

なほこの家にもらわれてきたかわいいこやぎ。あまりに鳴くので、しずかにしてという願いから名前は“しずか”とつけられた。
やぎのしずかシリーズ

サルくんと ブタさん

たどころみなみ
汐文社

生まれたときから耳がきこえないブタさん。「音ってどんなものなの？」そんなブタさんに、音を教えてくれたサルくんがいました。

すてきな 三にんぐみ

トミー＝アンゲラー／作
いまえよしとも／訳
偕成社

宝集めに夢中だった三人組の大盗賊が、ひょんなことから国中の孤児を集め・・・。

せんろはつづく

竹下文子／作
鈴木まもる／絵
金の星社

子どもは線路をつなげる遊びが大好き！

ぞうくんの さんぽ

なかのひろたか／作・絵
なかのまさたか／レタリング
福音館書店

散歩にでかけたぞうくんは、とちゅうで出会ったかばくんとわにくんとかめくんを背中にのせて……。

どうするどうする あなのなか

きむらゆういち／作
高畠　純／絵
福音館書店

深い穴に落ちてしまった敵同士の野ねずみと山猫。穴から出る方法をいっしょに考えます。

どろぼう がっこう

かこさとし
偕成社

世にもおかしなどろぼう学校の話。ある真夜中、まぬけな校長先生と生徒たちは町で、一番大きな建物にしのびこむのですが。

どろんこハリー

ジーン・ジオン／文
マーガレット・ブロイ・グレアム／絵
わたなべしげお／訳
福音館書店

黒いぶちのあるハリーは、おふろが大きらい。体を洗うブラシをかくして遊びに逃げだして・・・。

ちいさいおうち

バージニア・リー・バートン／作
石井桃子／訳
岩波書店

静かないなかに、ちいさいおうち。まわりに工場ができ、にぎやかな町になるにつれて・・。

にじいろの さかな

マーカス・フィスター／作
谷川俊太郎／訳
講談社

にじいろにかがやくうろこを持った世界でいちばん美しいさかな。でも彼はひとりぼっちでさびしい。

はらぺこ あおむし

エリック＝カール／作
もりひさし／訳
偕成社

ちっちゃなたまごはくいしんぼうのあおむしになって、毎日もりもりと食べつづけます。

びっくりたまご

レオ＝レオニ／作
谷川俊太郎／訳
好学社

石ころ島に住んでいるかえるのジェシカは、おもしろがることが大好き。
レオ＝レオニのお話シリーズ

めっきらもっきら どおんどん

長谷川摂子
福音館書店

遊び友だちがみつからないかんたは、お宮でへんてこなおばけたちと出会い、ふしぎなことばが聞こえてきます。

もりのおふろ

西村敏雄
福音館書店

ライオン、ゾウ、ウサギ……たくさんの動物が森のおふろにやってきた。みんなでいい気持ち！

もりのなか

マリー・ホール・エッツ
まさきるりこ／訳
福音館書店

ぼくが、紙の帽子をかぶり新しいラッパを持って、森へ散歩に出かけると、ライオンや象、くま、カンガルーなどが、散歩についてきました。

ゆかいなかえる

ジュリエット・ケペシュ／作
いしいももこ／訳
福音館書店

卵からかえった４匹のおたまじゃくしの活躍です。

わたしの ワンピース

にしまきかやこ
こぐま社

うさぎさんがワンピースを作りました。それを着てお花畑を散歩すると・・・。

わにわにの おふろ

小風さち／文
山口マオ／絵
福音館書店

ワニのわにわにはおふろが大好き。ちゃんとお湯につかり、おもちゃで遊び、せっけんのあぶくをとばし、シャワーをマイクに歌まで うたう！
わにわにシリーズ

ここにあげた絵本は、日吉津小学校や日吉津保育所、中央公民館にあります。

昔話・民話

おおきなかぶ

内田莉莎子／訳
ロシア民話、
トルストイ再話
佐藤忠良／絵
福音館書店

おじいさんが育てた大きなかぶをある日抜こうとしたけれど・・・。

てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ／絵
ウクライナ民話
内田莉莎子／訳
福音館書店

雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこみました。すると・・・。

三びきのやぎの がらがらどん

マーシャ・ブラウン／絵
ノルウェーの昔話
瀬田貞二／訳
福音館書店

山の草をたべて太ろうとする３匹のヤギと、谷川でまちうけるトロル（おに）との対決の物語。

ねむりひめ

グリム童話
フェリックス・ホフマン／絵
瀬田貞二／訳
福音館書店

占い女の呪いにかかり、100年の間眠り続けたいばら姫の話。

はなさかじい

松谷みよ子／文
瀬川康男／絵
フレーベル館

はたらきものじいさまが川でひろった木のねっこから白い犬が生まれて、シロと名付けられた。
再版未定

まのいい りょうし

小沢　正／文
飯野和好／絵
教育画劇

猟師のどんべえさんが撃った鉄砲の玉は大はずれ。でも、ひょんなことから・・・。

ももたろう

松居　直／文
赤羽末吉／絵
福音館書店

川へ洗濯に行ったおばあさんは、川上から流れてきた大きな桃を拾いました。

ものがたりからどうわへ

いやいやえん

中川李枝子／作
大村百合子／絵
福音館書店

元気な保育園児しげるが主人公の楽しいお話。

おしいれの ぼうけん

ふるたたるひ／作
たばたせいいち／絵
童心社

お昼寝前にけんかしたさとしとあきらは、おしいれに入れられて。さあ、たいへん。

ふたりは ともだち

アーノルド・ローベル／作
三木　卓／訳
文化出版局

がまくんとかえるくん、ふたりの友情を描いたお話。

ホットケーキ できあがり！

エリック・カール／作
アーサー・ビナード／訳
偕成社

「きょうは、でっかいホットケーキがたべたいなぁ」と思ったジャックは・・・。

もりの へなそうる

わたなべしげお／文
やまわきゆりこ／絵
福音館書店

てつたくん、みつやくんの兄弟は、へんな怪獣「へなそうる」と森の中で出会って・・・。